

2025 年 6 月 3 日

各位

上場会社名 **DIC株式会社**
代表者 代表取締役社長執行役員 池田 尚志
(コード番号 4631)
問合せ先責任者 コーポレートコミュニケーション部長 小峰 浩毅
(TEL 03-6733-3033)

太陽ホールディングス株式会社の第 79 回定時株主総会における
取締役選任議案(第 2 号議案)に対する当社の議決権行使予定に関するお知らせ

当社は従前より、株主を含む全てのステークホルダーの皆様にとっての企業価値の最大化に努めており、コーポレート・ガバナンスの遵守に基づく健全な経営が企業価値向上において極めて重要であると考えています。これは当社のみならず、当社の全ての関係会社にも当てはまります。

この基本的な考えに基づき、当社は、持分法適用関連会社である太陽ホールディングス株式会社(代表取締役社長:佐藤 英志。以下、「太陽ホールディングス」)が 2025 年 6 月に開催を予定している第 79 回定時株主総会(以下、「太陽ホールディングス定時株主総会」といいます。))に関して、以下のとおりお知らせします。

当社は、2017 年 1 月 25 日付で公表した「太陽ホールディングス株式会社との資本業務提携(持分法適用会社化)に関するお知らせ」のとおり、エレクトロニクス分野におけるシナジー創出を企図し、太陽ホールディングスを当社の持分法適用関連会社とすることを含む資本業務提携(以下、「本資本業務提携」といいます。))を行ってまいりました。しかしながら、太陽ホールディングス定時株主総会における取締役選任議案(第 2 号議案)に関し、佐藤英志代表取締役社長(以下、「佐藤社長」といいます。))の選任議案に対して、当社は以下の理由により反対の議決権を行使することを予定しています。

これまでの本資本業務提携を通じた太陽ホールディングスとのやり取りに加え、非公開化などの各種提案(買収対価や取引の主要条件が具体的に明示されている提案を含む)に対する太陽ホールディングス取締役会における提案の検討姿勢を鑑みると、佐藤社長を筆頭とする太陽ホールディングスの取締役会は、中長期的な企業価値向上及び株主共同の利益最大化に向けて、必ずしも適切に機能しているとは言えません。そして、その一因は、佐藤社長の強い影響力にあると考えるに至りました。そのため、2011 年から現在に至るまで長期にわたり代表取締役社長を務めている佐藤社長から経営の一新を図り、新たな経営体制のもとで経営戦略を推し進めることが、株主共同の利益に資すると判断しました。この判断に基づき、佐藤社長の選任議案に対して、反対の議決権を行使することとしました。なお、他の取締役候補者への議決権行使につきましても、今後慎重に検討してまいります。

また、当社は、エレクトロニクス分野における事業環境の変化や、太陽ホールディングスにおける医療・医薬品事業の拡大を含む事業ポートフォリオの変化等に鑑み、今後の太陽ホールディングスとのシナジー発現を通じた事業拡大余地が限定的であると判断しています。加えて、当社が最重要領域と位置付けるスマートリビング領域において早期かつ確実に収益化が見込まれるテーマに経営資源を集中投入する経営方針の中で、太陽ホールディングスへの資

本投下の継続が、当社の中長期的な企業価値向上に必ずしも資するものではないと考えるに至りました。こうした背景を踏まえ、当社は太陽ホールディングスとの間で、資本関係の在り方についての協議を開始しています。

なお、上記の本資本業務提携の現状に照らして、本資本業務提携下で継続してきた取締役派遣の意義が薄れているとの認識に至ったため、太陽ホールディングス定時株主総会の取締役選任議案において、当社が指名する取締役候補者は含まれていません。

今後、当社は、太陽ホールディングスとの間で資本関係の在り方について詳細な協議を進める予定ですが、開示すべき事実が発生した場合には速やかにお知らせします。なお、太陽ホールディングスは当社の重要な取引先であることに変わりはなく、今後も継続的に取引を行う予定です。

以 上